

学校のひとコマ（茶道部 東京都高等学校文化祭茶道部門中央大会「冬の茶会」に向けて）

本校茶道部は、今年度も上野にある東京国立博物館内茶室で行われる「東京都高等学校文化祭茶道部門中央大会「冬の茶会」」に参加します。

当日は、20名を超えるお客さまに、お点前を披露します。そのため、当日の茶会で日頃の成果を発揮できるように、校内の先生方に本校の和室にきてもらい、本番に向けた稽古を行いました。お点前についても、細かい時間や作法の設定がされているそうで、部員たちは、真剣なまなざしでマニュアルを見て、手順を確認していました。今回は、その稽古の様子をお知らせします。



お茶をたてる手順やお客様への案内を一つ一つ確認していきます。



お茶はとてもおいしかったです。お茶をいただくと、器の底から、おかめの顔が現れました。



多くの教職員が時間に合わせて和室に集まってくれました。



茶道部の3年生の皆さん

茶道部3年生に、中央大会へ向けての思いを書いてもらいました。

私たちは今年、寛保2年（1742）に建てられた「応挙館」でのお点前を任されました。大会に向けて、茶道についてもっと理解を深められるよう勉強しています。本番に向けてとても緊張していますが、お客様に江戸時代の絵師、円山応挙が描いた襖絵を眺めながら、お茶を楽しんでもらえるよう頑張ります。応援よろしくお願いします。